

1億7,764万9千円を減額

総額 84億5,542万9千円

補正予算の主な内容は、平成30年度当初予算が骨格予算であった影響などによる不要額の合計と追加補正の差引で1億7,764万9千円の減額となった。
歳出において増額となった主な事業は次のとおりである。

事項別歳出予算名	内 容	金 額
財産管理費	合併振興基金積立金	118万8千円
農業総務振興費	熊本県中山間農業モデル地区支援補助事業	526万8千円
公共土木施設災害復旧費	工事請負費（災害復旧）	780万円

特別会計補正予算

会 計 名	追加・減額	歳入歳出予算総額
国民健康保険事業会計	994万5千円追加	14億7,302万7千円
介護保険事業会計	1,019万5千円減額	15億8,042万9千円
特別養護老人ホーム事業会計	277万6千円追加	5億246万3千円
簡易水道事業会計	126万8千円減額	5,909万6千円
下水道事業会計	169万9千円減額	6,570万6千円
特定地域生活排水処理事業会計	1,230万6千円減額	1億411万7千円
後期高齢者医療事業会計	318万3千円減額	1億5,954万円
和水町病院事業会計（収益的収入及び支出）	272万3千円減額	8億7,860万4千円

113億7,864万2千円を可決

平成31年
3月
定例議会
報告

各会計当初予算の状況

会 計 名		当 初 予 算 額		増 減 額
		平成30年度	平成31年度	
一般会計		61億3,275万9千円	67億1,490万8千円	5億8,214万9千円
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	14億6,727万9千円	14億318万1千円	△6千9万8千円
	介護保険事業会計	15億2,102万8千円	14億9,379万3千円	△2千723万5千円
	特別養護老人ホーム事業会計	4億7,844万円	4億9,313万5千円	1,469万5千円
	簡易水道事業会計	5,060万1千円	6,451万5千円	1,391万4千円
	下水道事業会計	6,493万7千円	6,278万6千円	△215万1千円
	特定地域生活排水処理事業会計	1億206万9千円	1億1,341万6千円	1,134万7千円
	春富財産区特別会計	30万2千円	28万6千円	△1万6千円
	後期高齢者医療事業会計	1億6,267万3千円	1億5,719万2千円	△548万1千円
	和水町病院事業会計 （収益的収入及び支出）	8億5,347万3千円	8億7,543万円	2,195万7千円
	計	47億80万2千円	46億6,373万4千円	△3,706万8千円
合 計		108億3,356万1千円	113億7,864万2千円	5億4,508万1千円

3月定例会は、3月8日から18日までの11日間の会期で開催された。町長の行政報告、30年度補正予算9件、31年度当初予算10件、条例関係7件、その他4件の計30件が提案され、原案どおり承認可決された。

一般会計当初予算では、新規事業として、主に、幼児英語教育委託事業、学童保育施設新築棟新設工事事業、せきすい斎苑火葬炉整備事業、きくすいロマン館空調改修工事、緑彩館空調入替工事、プレミアム付商品券事業などが含まれている。

一般質問は7名が登壇し、幼児英語教育に向けての町の考えについてや、町のPR推進についてなど、提言も含めさまざまな質問がなされ活発な議論が交わされた。

最終日には、議員発議による、町立病院・特別養護老人ホーム検討特別委員会設置に関する追加議案も承認可決された。

議案第28号	当初予算	平成31年度 和水町病院事業会計予算	原案可決
議案第29号	その他	和水町過疎地域自立促進計画の変更について	〃
議案第30号	その他	工事請負変更契約の締結について	〃
議案第31号	その他	町道の路線廃止について	〃
議案第32号	その他	町道の路線認定について	〃
諮問第1号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案決定
諮問第2号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃
諮問第3号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃
諮問第4号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃
諮問第5号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃
同意第1号	人事	和水町教育委員会教育長の任命について	原案同意
同意第2号	人事	和水町教育委員会委員の任命について	〃
同意第3号	人事	和水町教育委員会委員の任命について	〃

議員提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
発議第1号	その他	和水町総合グラウンド及びその周辺整備事業検討特別委員会の期間を変更する決議について	原案決定
発議第2号	その他	町立病院・特別養護老人ホーム検討特別委員会設置に関する決議について	〃
		閉会中の継続調査について（各委員会）	〃
		議員派遣について	〃

3月 定例会			賛 否 一 覧 表											○は賛成 ×は反対	
議 案			議員名	荒木 宏太	白木 淳	齊木 幸男	坂本 敏彦	竹下 周三	高木 洋一郎	秋丸 要一	松村 慶次	庄山 忠文	池田 龍之介	森 潤一郎	蒲池 恭一
議案第9号	条例	和水町田中城ミニミュージアムの設置及び管理に関する条例の制定について		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第13号	予算	平成30年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※
議案第22号	予算	平成31年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。
※賛否がわかれたものだけを掲載しています。掲載している議案のほかは全員賛成です。

賛成討論 議案19号：高木議員

3 月 議 会 議 案 審 議

採 決 結 果		条 例： 7件 予 算： 19件 そ の 他： 4件 人 事： 8件 計 38件
町長提出議案一覧		

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第2号	条例	和水町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	条例	和水町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〃
議案第4号	条例	和水町が設置する専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部改正について	〃
議案第5号	条例	和水町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第7号	条例	和水町森林環境譲与税基金条例の制定について	〃
議案第8号	条例	和水町教職員住宅設置条例の一部改正について	〃
議案第9号	条例	和水町田中城ミニミュージアムの設置及び管理に関する条例の制定について	〃
議案第10号	補正予算	平成30年度 和水町一般会計補正予算（第9号）	〃
議案第11号	補正予算	平成30年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第12号	補正予算	平成30年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第13号	補正予算	平成30年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第4号)	〃
議案第14号	補正予算	平成30年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第15号	補正予算	平成30年度 和水町下水道事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第16号	補正予算	平成30年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第17号	補正予算	平成30年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第18号	補正予算	平成30年度 和水町病院事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第19号	当初予算	平成31年度 和水町一般会計予算	〃
議案第20号	当初予算	平成31年度 和水町国民健康保険事業会計予算	〃
議案第21号	当初予算	平成31年度 和水町介護保険事業会計予算	〃
議案第22号	当初予算	平成31年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計予算	〃
議案第23号	当初予算	平成31年度 和水町簡易水道事業会計予算	〃
議案第24号	当初予算	平成31年度 和水町下水道事業会計予算	〃
議案第25号	当初予算	平成31年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計予算	〃
議案第26号	当初予算	平成31年度 和水町春富財産区特別会計予算	〃
議案第27号	当初予算	平成31年度 和水町後期高齢者医療事業会計予算	〃

限られた予算で

最大限の効果を！

平成31年度 特別会計当初予算

総額：46億6,373万4千円

国民健康保険事業  14億318万1千円	介護保険事業  14億9,379万3千円	特別養護老人ホーム事業  4億9,313万5千円
簡易水道事業  6,451万5千円	下水道事業  6,278万6千円	特定地域生活排水処理事業  1億1,341万6千円
春富財産区  28万6千円	後期高齢者医療事業  1億5,719万2千円	公営企業会計 和水町病院事業  8億7,543万円



※自主財源とは
地方公共団体が自主的に
収入できる財源
依存財源とは
国や県の意思により定め
られた額を交付され
たり、割り当てられたりす
る収入

平成31年度 一般会計当初予算

総額：67億1,490万8千円

歳入予算	
自主財源 15億8,298万3千円	依存財源 51億3,192万5千円
町税 8億7,960万8千円 17.1%	地方交付税 30億3,122万4千円 59.1%
分担金・負担金 3,909万4千円 0.8%	地方譲与税・他交付金 2億9,938万4千円 5.8%
使用料・手数料 5,470万9千円 1.1%	国庫支出金 6億4,644万7千円 12.6%
繰入金 2億5,145万1千円 4.9%	県支出金 4億6,177万円 9.0%
繰越金 3億1,200万3千円 6.1%	町債 6億9,310万円 13.5%
財産収入・寄付金・諸収入 4,611万8千円 0.9%	

歳出予算			
議会費  7,465万3千円 (1.1%)	総務費  8億1,853万2千円 (12.2%)	民生費  19億6,157万8千円 (29.2%)	衛生費  6億7,016万9千円 (10.0%)
農林水産業費  2億8,492万3千円 (4.2%)	商工費  2億1,676万7千円 (3.2%)	土木費  7億4,847万2千円 (11.1%)	消防費  2億7,741万1千円 (4.1%)
教育費  6億1,449万7千円 (9.2%)	災害復旧費  1,690万6千円 (0.3%)	公債費  10億1,100万円 (15.1%)	予備費  2,000万円 (0.3%)

(%は構成比を表示)



納めた税金は

どのように使われたのか

予算審査・各常任委員会報告

総務・文教常任委員会

委員長 池田 龍之介

総務・文教常任委員会所管課の平成31年度歳入歳出当初予算審査を、総務・文教常任委員6名で、さる3月14日、15日の2日間に亘り、一般会計歳入歳出予算、国民健康保険事業会計歳入歳出予算、後期高齢者医療事業会計歳入歳出予算、それぞれの予算書及び予算説明書をもとに、所管課である会計室、議会事務局、監査室、まちづくり推進課、三加和総合支所(住民課、春富財産区)、税務住民課、社会教育課、学校教育課、総務課の順番で懇切丁寧な説明を受け、予算審査を実施しました。

審査結果は、平成31年度当初予算における、所管課の一般会計及び特別会計は、全委員、社会教育課予算金栗四三顕彰事業費、3千142万1千円の内、金栗生家前の駐車場原形復旧工事費、1千239万7千円、予算執行凍結という条件付きで、《本会議に於いて、全議員の賛同を得、町長もそのことを重要に受け止め、この案件の予算執行については、随時、議会に報告をしながら事を進めたいと明言された。》その他の予算案については、承認するという意見の集約を見た。また、本年の当初予算は、本町財源の約半分を地方交付税に依存している状況の中、

合併後、10年間特別加算措置であった、合併算定替えから、一本算定への5カ年に亘る移行期間であり、普通交付税の一本算定に向けた漸減した予算編成が求められており、一般会計の平成31年度当初予算総額は、67億1千490万8千円、前年度より5億8千214万9千円(9.5%)増額である。前年度は町長選、議員選が執行されるため骨格予算であった。基金から取崩され、3億9千万円(財政調整基金1億円、減債基金1億5千万円)繰り入れられておる状況で、また、収入減が予想されるものは、自動車取得税交付金▲311万7千円、分担金及び負担金▲1千424万5千円、繰越金▲129万2千円等であり、町債は6億9千310万円で1億8千190万円増、過疎債3億9千140万円、道路整備等のハード事業分3億2千80万円、子ども医療費助成事業等のソフト事業分8千860万円、合併特例債1億2千880万円、臨時財政対策債1億4千万円)となり、ここ数年菊水地域の学校統合事業等の大規模な公共事業で公債費がかなり膨れ上がっており、今後は起債による各種事業の縮減に努めることが望ましい処であると意見の集約を見た。



また、町民の方々に安全な水の供給は、簡易水道関係は建設課、久井原ニュータウン・平野ビレッジ関係はまちづくり推進課、中林水源関係は三加和総合支所住民課と業務窓口が複数に分かれており、使用料金にも格差があり、不公平と思われるので、業務窓口の一本化、使用料金の均一化を図るよう

に促し、また、同一形態行事の統一化、リース等の契約窓口の一本化を図り、価格交渉の優位性を図る検討を提案、また、将来的見通しから、より一層の緊縮財政となるとの意見の集約から、縦割・横割だけでなく全体的に計画を立て、財政負担の分散に努めるべきと注意喚起を促し、担当課における予算執行に於いては、より良い住民サービス向上を意識し、費用対効果を挙げる努力をされるよう要望、総務・文教常任委員会当初予算審査を終了した。

厚生・建設・経済常任委員会

委員長 坂本 敏彦

委員会が所管している一般会計における健康福祉課、農業委員会、農林振興課、商工観光課、建設課、特別会計の介護保険事業会計、老人ホーム事業会計、和水町病院事業会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計、特定地域生活排水処理事業会計について平成31年度当初予算審査報告を行う。

健康福祉課

福祉係、障害福祉係、子ども家庭係、保健予防係、地域包括支援係、介護保険係、神尾保育園の7係で健康福祉に関する業務を行っている。健康福祉課の一般会計は、民政費の国保会計繰出金・特別会計繰出金を除く15億5千132万8千円で昨年と比較して、1億5千865万7千円の増額となっている。

要因としては、障害者福祉サービスのニーズが高まり、障害者総合支援介護等給付費の増加によるものである。児童福祉費のなかでは学童保育施設の新設工事に伴う予算、委託料として幼児英語教育導入事業予算、神尾保育園のトイレ等の維持補修工事、その他老朽化に伴う維持補修工事及び機能強化を図り環境が充実される。

介護保険事業会計は、2千7百23万5千円の減額、積立給付金が昨年度5千万円

であったが、今年度5千円となり減額の要因である。

特別養護老人ホーム事業会計

歳入では、短期入所生活介護(ショートステイ)利用者の増加、増収が見込まれているが、一般会計からの繰入金金は、昨年度より2千910万6千円増額の4千385万9千円となっており経営努力が求められる。

和水町病院事業会計

収益的収入及び支出は8億7千543万円で昨年度より2千195万7千円の増額。入院収益を入院患者数、年間2万4千人と見込み4億3千645万5千円、外来収益を外来患者数、年間2万6千人と見込み1億6千484万円と予定している。

農業委員会

平成30年8月1日より新体制へ移行し農業委員11名農地利用最適化推進委員17名歳出総額3千222万9千円である。

農林振興課

優良農地の維持と認定農業者を確保し、担い手育成を進め農業振興を図る。補助事業を活用し裏作の取れる圃場を整備し所得の向上を図る。先端技術の導入としてスマート農業(果樹

防除技術の確立)の実証をすすめる。

以上を目標とし当初予算総額2億5千369万6千円としている。

商工観光課

商工費総額は昨年度より1億420万6千円増額の2億1千676万7千円となり、主な要因は、プレミアム付商品券事業、菊水ロマン館施設等改修事業、緑彩館空調設備入替工事、金栗四三大河ドラマPR関連事業である

建設課

土木費の歳入歳出総額は、7億5千990万6千円になる。

歳出の主なもの、土木総務費、道路維持費、道路新設改良費、橋梁維持費、河川維持費、河川改良費、住宅管理費となっている。

特別会計の簡易水道事業会計の歳入歳出予算総額は、6千451万5千円であり、一般会計からの繰入金金は、4千10万円である。下水道事業会計の歳入歳出総額は、6千278万6千円である。

特定排水処理事業会計の歳入歳出総額は、1億1千341万6千円となる。

以上3つの特別会計は、町民にとって安心で安全な環境整備に務めるとともに、企業会計制度設計に向け経営の健全化に努める事を要望した。

厚生・建設・経済常任委員会は効率的な予算執行を要望して、当初予算審査を終えた。

特別委員会中間報告

委員長 荒木 宏太

本検討特別委員会会議はこれまで5回開催し、これまでの経緯の説明や現場確認を実施し、本事業の問題点や改善点について議論を交わし意見の集約を図った。

まず、グラウンドとしての機能について、第一グラウンド東側の境界斜面から土砂が流れ込むことから土砂流入防止対策が必要と考える。次に外周トラックの延長が1周775mの設計であったことから利用が不便であり、更なる照明についても設置計画がないことから利用時間についても制限がでくる。こうしたことから町の公共運動施設としての機能と目的を考えた時、最大限の効果を発揮するために是正と見直しを提案した。

執行部の当初計画している事業費2億6千269万円の計画において、今後の和水町財政スケジュールの中で町の負担額は大きく、有利な起債と言わ

れる合併特例債を起債しても、償還金を含め約1億円の一般財源が必要となる。現在、学校建設や空調の入れ替え等を進めている町としては財政負担が大きく今後、実質公債費率が上がっていくことに将来懸念が残る。

現在、第一グラウンドにおいて300mトラックや野球、ソフトボール等の使用ができないことはないが、早急に機能の充実を図る必要がある、スポーツ補助金や企業助成金の活用を委員会として提案した。

和水町民の為に最小の予算で最大限の費用対効果を生む総合グラウンド建設になるよう、今後も引き続き執行部と検討を実施していくことを約束し、和水町総合グラウンド及びその周辺整備事業検討特別委員会の中間報告とする。

町立病院・特別老人ホーム検討特別委員会

町立病院・特別老人ホーム 検討特別委員会設置

委員長 坂本 敏彦

和水町の財政運営の中で、重要視される特別事業会計である国民健康保険和水町立病院事業会計、特別養護老人ホーム事業会計は2つとも慢性的に経営不振の状況が続いている。

それに加え特別養護老人ホームにお

いては、施設の老朽化などの課題もあり、議会は町立病院、特別養護老人ホームの今後に関する調査、検討を行う特別委員会を（議員12人全員で構成）設置した。

ご 紹 介

3月定例会において、教育長に選任された岡本貞三さん（和水町中十町）を紹介します。



岡本 貞三 教育長

岡本さんは37年間教職員としてお勤めされたのちに、教育委員会委員を歴任されております。本町教育行政のこれからをけん引されることとご期待しております。

町政の発展に貢献

庄山忠文議員は、町議会議員として15年以上在職（合併前も含む）され、このほど全国町村議会議長会と熊本県町村議会議長会から自治功労の表彰がありました。おめでとうございます。



庄山 忠文 議員



問 平成31年度から実施する幼児に対する英語教育の内容は。

答 (健康福祉課長) 民間事業者に委託して、①英語や外国人に興味や親しみを持つ ②正しい語学力を持てる基礎づくり ③小学校に進学しても戸惑いなく英語の授業に向き合える環境づくり の3つを目標として、町内4保育園で週1回を基本に年間40回を上限に実施する。また、子育て広場などでも実施を計画している。

指導者は、英語を母国語とする外国人で、歌や遊びを通じて英語教育を行う計画である。

問 保育園から小学校への英語教育の連続性は。新1・2年生の英語教育はどのように行うのか。

答 (教育長) 現在、3年生以上の児童に対して英語教育を実施している。新1・2年生については、外国人指導助手を町で雇用して、週1時間の学習を計画している。学習内容は、ゲーム形式や遊びを

通じて英語に親しむ内容とする予定。

問 平成4年から上津田地区に居住し、創作活動や展覧会を開催されるなど、本町の芸術文化に貢献された銅版画家の故・秀島由紀男氏の作品を町が所蔵していると思うが、その作品の管理状況は。

答 (教育長) 秀島先生の作品176点は平成24年度まで旧あばかんな家に保管・展示されていたが、現在は三加和総合支所の文化財関連資料保管室に保管している。

問 版画は、湿度などに敏感である。専門家に相談して、適切に保管してもらいたい。また、町民に鑑賞の機会を提供する考えはないか。

答 (町長) 専門家の指導を受けて保管方法を検討する。

答 (教育長) 学校などで、展示を検討する。

提案 秀島先生の功績を顕彰する回顧展の開催を提案する。



高木洋一郎議員

幼児英語教育の内容と小学校への連続性は？
銅版画家の故・秀島由紀男氏の作品鑑賞の機会提供を！

ズバリ!聞きます 一般質問

3月定例会では7名の議員が一般質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。

坂本 敏彦議員 14P
・千載一遇の好機をどのように生かしていく考えか？

竹下 周三議員 15P
・「いだてん関連」
・区長の役割は

森 潤一郎議員 15P
・学童保育の今後はどう変わっていくのか！

*一般質問の記事は、質問した議員が600文字程度に要約したものです。原文を尊重していますが、一部編集しています。

*発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。

*会議録は町の公式ホームページで閲覧できます。

齊木 幸男議員 12P
・天皇陛下の御即位と新元号の対応
・江田四つ角交差点の改良と定住化
・特老きくすい荘の新築建替の決断

高木 洋一郎議員 13P
・幼児英語教育の内容と小学校への連続性は？
・銅版画家の故・秀島由紀男氏の作品鑑賞の機会提供を！

荒木 宏太議員 13P
・我が町のPR戦略! 政治判断は急務! 執行体制に問題はないか？

池田 龍之介議員 14P
・病院、特老運営は抜本改革を喫緊の課題として捉えるべき!!

問 ランナーの聖地と発する町の今後のPR戦略は。

答 (町長) 200年以上経った生家、そして金栗さんが通った学校の通学路が存在する。これはまさに聖地と言える。生家を上空から撮影した写真を、ランナーの聖地とセットにして、和水平町しかない原点の魅力を発信し続けている。

問 ハード面での整備を考えているか。

答 (町長) 金栗四三生家にはやたら手を入れない方がいいと思っっている。今の状態で保存していく方が、価値がある。

問 ワンピースキャラクターの像について執行部での会議はあったか。

答 (町長) やっていない。

答 (総務課長) 総務課から町長には言っていない。被災地の復興支援が一番であると判断した。他市町村の動向等も調べるべきであったと反省している。

問 執行部の中で議論されていないか。



荒木 宏太議員

我が町のPR戦略！
政治判断は急務！
執行体制に問題はないか？

ということとは興味がないのか、活用を全く考えていなかったのではないかと思うが。この政治判断は町長がしていないのか。

答 (総務課長) 総務課から副町長、町長には上げていない。その旨の判断を仰ぐべきだったと思う。

問 ガバナンスの欠如だと思うが、この町の執行の流れはどうなっているか。

答 (総務課長) 公文書はあらゆることから数えきれないほどあり、案件によっては係長、課長、判断で止まる場合がある。

問 今のこの状態で町長はいいのか。

答 (町長) 今後二度とこのようなことが起こらないように問題意識を持ちながら対応する。

問 信頼関係の問題だと思う。今後の対策は。

答 (町長) 職員の意識改革だと思ふ。



齊木 幸男議員

天皇陛下の御即位と新元号の対応
江田四つ角交差点の改良と定住化
特老きくすい荘の新築建替の決断

問 萩原、江田、内田を通る県道大牟田植木線で安心して暮らせる道路環境の早期実現は。

答 (町長) 児童・高齢者など歩行者対策が必要。南小学校用木地区の歩道整備は毎年県に要望しているが事業化に至っていない。今年度は用木公民館から郵便局付近まで舗装修繕が予定されている。

問 交通事故防止のため江田四つ角交差点改良の早期実現は。

答 (町長) 29・30年度は足踏み状態だった。3月に県の地元説明会があると聞いている。全力を挙げて県当局に働きかける。

問 いだてん大河ドラマで注目を浴びている今こそ移住・定住化促進のため住宅地開発の実現を。

答 (町長) 住宅用地造成を計画している。31年度から3年間で町有地を活用して25戸程度の整備を目指す。

問 天皇陛下のご退位と皇太子殿下のご即位、新元号発表の際に政府見解と学習指導要領の通りの対応をとる考えはあるか。

答 (町長) 非常に喜ばしいことで国民を挙げてお祝いすることをいささかも否定しない。国県からの通知、近隣市町等の動向を踏まえながら検討する。

問 新元号・オリンピックに即した名称変更は。例、金栗四三記念三加和グラウンド・2020オリンピック記念和水総合グラウンド。

答 (町長) 大変検討に値する。

問 昭和48年今上陛下が皇太子時代に美智子妃殿下と行啓されたきくすい荘は、町民誰もが安心して利用できるセーフティネットの役割がある。今こそ町長は新築建替の決断と行動をするとき。

答 (町長) 今年6月ぐらいまでに執行部の考え方をまとめ議会に提示し意見を聞かせて頂きたい。



病院、特老運営は抜本改革を
喫緊の課題として
捉えるべき!!

問 病院、特老問題について、国

と云う部分もあろうかと思う。

は独立採算の確立を図る様にと舵を切ったのではないか。地方交付

問 病院経営の中で、人件費は何割になる。

税の特別交付金の交付額削減に踏み切ったのではないかと想う。特

答 （事務部長）人件費に占める割合は、74％位ではと。

老に於いても小規模な自治体を持つ時代は終焉を迎えたのではない

問 人件費74％これは異常。経営は成り立たない。地域の人たちに安心感を与えるためには、診療所

か。

タイプを菊水地域に1つ、三加和

答 （町長）特老と病院の問題は一番の懸案事項と想っている。今まで健康管理センター、病院、特老と一連の予防、医療、介護ま

地域に1つ作れば、未病対策は出来る。健康管理センターは残しつつ、今後の病院運営を真摯に考え、その方法を探すのが1番。

為に貢献し、今日に至っており、公が経営する病院、特老、もちろん経済合理性の追求もやらなければいけないが、それだけでいいのか

答 （町長）正に私もその通りだと思う。スピード感を持った検討をする。



「いだてん関連」
区長の役割は

問 約3億2千600万円程の予算を投じて事業が推進なされているが、既存の商店等における経済効果は。

提言 本町内にある宝、あし湯・ミュージアム裏の校等々活用して集客に繋いでほしい。

答 （町長）三加和温泉関連においては販売増で、1月・2月共に150％・160％の伸びである。

問 ふれあいの森、トレイルラン構想はどうなったか。

提言 物品販売増は喜ばしいが、温泉客の増加は横這いである。こちらも並行して集客に努めて頂きたい。

答 （町長）素晴らしい発想であり、大いに進めたい。全面的に協力していきたい。

問 今日までいだてん関連で職員による人員補填がなされているが、今後も続くのか。

提言 活動出来ていない状況を打破して進めて頂きたい。

答 （町長）職員の皆様には苦勞をかけて申し訳ない。心配している所であり、改善していく。

問 行政区長の役割は。

提言 職員の休養を心配しているのではなく、費用対効果をお尋ねしている。

提言 区長の役割を明確に周知する必要があるのではないかと。町長の言葉一つで、あらゆる問題が発生する。町長としての理念・信念も大切であるが、リーダーシップを発揮して頂きたい。

問 現状を踏まえて今後どの様にしていくのか。

答 （町長）町内観光施設のPR等に力を入れ、金栗先生の思いを継承して、和木町に「行きたい、住みたい」と思ってもらえる町にし



千載一遇の好機を
どのように生かしていく
考えか?

問 金栗四三先生からいただいたこの千載一遇の好機を、5年後、10年後に、移住定住促進にどのよう

問 幼児英語教育については、平成31年度より実施の方向であるが、小学校英語教育についてはどのように考えているのか。

答 （町長）金栗四三氏が大河ドラマの主人公の一人に選ばれたことにより、金栗氏が和木町の出身である

答 （町長）グローバル社会の中で英語力は、発達段階に応じて聞くこと、話すこと、やりとり、発表、読み込む、書くことの技能を習得し、間違いを恐れずに積極的に英語を使いコミュニケーションをとることが今からの子どもたちには求められている。

と全国に発信されたことで和木町の名前を目にした方は相当多くいると拝察する。本町では千載一遇の好機を生かし、さらに和木町を知っていただく事業を実施し、四季折々の和木町をまるごと見て

今回、幼児英語教育を導入し次の小学校1・2年生そして3・4年生の教科化に連続性というのは非常に大事だと私は思う。はつきりした発音、英語独特のイントネーションが自然と出るように一連の幼児段階から小学校1・2年生まで含めてやっていきたい。

味わって体感してもらうために、既存の観光施設や各種イベントのPRを行い、リピーターを増やし、和木町のファンになっていただき和木町が持つ強みを重ねて、有休化した土地を活用し、そこに宅地造成をし呼び込み、移住定住促進を早急に取り組んでいきたい。

今、健康福祉課長「2018年6月菊水地域の小学校保護者を対象に学童保育の利用の意向調査を実施。その結果6年生まで利用したいという対象者が73名であった。これをもとに今回の学童保育施設の新設規模を80名として建設する予定。仮に6年生まで利用拡充しても待機児童なしで対応できると判断している。支援員の数については制度上1支援あたり40人規模となつているので2名は必要となる。しかし目の行き届いた支援につなげるためにはそれ以上の支援員が必要と考えている。



学童保育の今後は
どう変わっていくのか!

問 県が発表した「放課後児童クラブ」の体制拡充策は対象を6年生まで拡大し、受入れ時間を午後7時まで延長するとある。今後町の子ども・子育て支援事業の提供体制はどう変わっていくのか。

答 （健康福祉課長）今後の支援内容を精査するためアンケート調査を実施。その集計結果をもとに2019年については保育園児の保護者代表、保育園の園長並びに主任児童員等で構成した子ども子育て推進協議会にて協議して、支援事業の提供体制を構築していく予定だ。受入れ拡充や受入れ時間の延長についても第2期の支援事業計画策定に向けた課題として検討していく。

問 学童保育施設の建設に伴う待機児童の問題、支援員の数確保等運営上の問題は。

答 （町長）2020年度開設予定の菊水区域の学童保育施設の管理運営については民間委託に移行することも含めて検討している。

問 学童保育施設の建設に伴う待機児童の問題、支援員の数確保等運営上の問題は。

答 （町長）2020年度開設予定の菊水区域の学童保育施設の管理運営については民間委託に移行することも含めて検討している。

問 学童保育施設の建設に伴う待機児童の問題、支援員の数確保等運営上の問題は。

答 （町長）2020年度開設予定の菊水区域の学童保育施設の管理運営については民間委託に移行することも含めて検討している。

問 学童保育施設の建設に伴う待機児童の問題、支援員の数確保等運営上の問題は。

答 （町長）2020年度開設予定の菊水区域の学童保育施設の管理運営については民間委託に移行することも含めて検討している。